

神戸新聞社勉強会 感想

今回の講義で、レイアウトのポイントや効果的な題名の付け方を学びました。また、取材の際に段取りを決めすぎる癖があったので、今後は雑談も交えながらの取材を実践したいと思います。

わたしは新入部員なので、新聞のレイアウトにたくさんの工夫がこらされていることを知って驚いた。実際の新聞記者のかたの取材の様子をみせていただく機会はなかなかないので貴重な体験だと感じた。三好さんが気さくでユーモアのある方で新聞記者のかたはみんなこのようにはきはきとした方ばかりなのかなと思った。

新聞のレイアウトや見出しの付け方に関して様々なことを教えていただいた。今回の勉強会を参考に新聞を作っていこうと思う。

勉強会を開いていただきありがとうございました。実際に部員とインタビューし合い、記事を考えるという作業は、話題の広げ方を学ぶことができる貴重な体験でした。「電車に揺られて」という例を挙げて説明があった言い換えの表現を、記事を書くときに意識して取り入れて行きたいと思います。最後のクイズでは文章の書き方の基礎について教えていただきましたが、答えることができない問題があったので復習します。自分が知らないことを沢山学ばさせていただきました。ありがとうございました。

一番驚いたのは、レイアウトの組み方です。

私達はレイアウト専門、デスク専門の人間を置いていないこともあり、紙面への組み込みでは見出し、写真の大きさを犠牲にして記事を入れ込むという手法を取ってしまっています。見出しを短くするという話もいただいたので、それに合わせて次回は視覚的にも楽しめるよう写真に重きをおいた新聞にしたいです。

同じトピックであっても、記事の内容と見出しで全く異なるものになるのが勉強になりました。

写真は撮り方次第で読者に伝わる要素がより多くなることが分かりました。

ありがとうございました。

講演の感想:部活に入ったばかりなので、新聞を書く上で基本的なことが学べて良かった。自分で考えさせるような講習だったので、ちゃんと身につけることができた。

個人的に一番ためになったのは見出しの作り方です。どのような見出しにすれば読者の興味関心を引けるのかをはっきりとは知らなかったのですが、今回の勉強会がよい機会となりました。講座中に見出しを作る練習をいくつかしましたが、全然うまくできなかつたので、今回の勉強会で学んだことを生かして上手な見出しを作れるように頑張ります。

自分は取材があまり得意ではないので、本職の方の取材を生で見ることができてとても参考になりました！新聞を書く上で、レイアウトや文章校正、主語・述語など意識しておいた方がよいことがたくさんあり、大変勉強になったと思います！

普段購読している神戸新聞の勉強会に初めて参加するというので、とても楽しみにしていました！

写真を見て思ったことをそのまま見出しにしたり、同じ写真を使った似たような記事でも、つける見出しで読み手が受ける印象が全く違ったりと面白かったです。1番すぐ目に入る見出しは、読み手の興味を引かなければ記事を読んでもらえないので、記事の内容と同じくらい重要だなと感じました。ありがとうございました。

初めての参加で、まだ執筆経験が無い中でも非常にわかりやすく面白かったです。特に実際の記事の見出しを考えると二人組となってインタビューをし合うことは日頃から実践したり友達に協力してもらって経験を重ねたいと思います。

この勉強会を通じて、見出しの重要性を再認識させられた。情報を詰め込みすぎて、見出しが長くなるのでは意味がなく、要所を絞って伝えるのが大事だと感じた。また、同じ内容を扱っている記事だとしてもテーマに置いていることが違えば、見出しにも差異を付けることができることを学んだ。写真の大きさと記事のメリハリをつけることも今後は活用していこうと思う。